

2026年9月 すぎなみ天体観望会

いまだから知る 「月って なあに？」

—人類、再び月へ—

開催日——
2026年9月19日(土)・9月20日(日)

会場——
セッション杉並 [杉並区梅里1-22-32]

アクセス——
東京メトロ丸ノ内線「東高円寺駅」徒歩5分、「新高円寺駅」徒歩7分
<https://www.sesion-suginami.jp/>

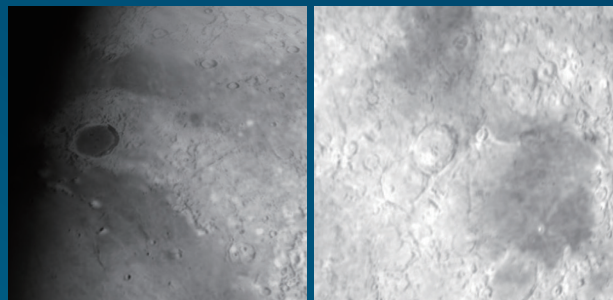
参加費——
無料 事前申込制／定員を超えた場合は抽選

応募受付期間——
8月15日(土)～9月1日(火) 23:59
・杉並区公式ホームページ(イベント情報)からもお申込みできます。

参加確定のお知らせ——
申込締切後、1週間程度を目安に、お申込みいただいた方
全員へメールにて結果をお知らせします。

お問い合わせ ——
杉並区科学教育事業担当 株式会社コングレ
Mail—suginami-science@congre.co.jp
Tel—03-6383-0296 [9:30～17:30／定休 火曜日]

主催 ——
杉並区立社会教育センター



StellaNavigator/アストロアーツ

トークイベント
月を観る前に、月や宇宙について楽しく学んでみませんか。
講師は、月探査や宇宙開発の魅力を発信し続ける寺菌淳也氏。
月面写真を使ってクレーターや月の地形をわかりやすく解説
するとともに、人類が再び月を目指す「アルテミス計画」の最新
動向についてもご紹介します。
月について知ってから望遠鏡をのぞくと、クレーターや月面の
姿がより身近に、そして興味深く見えてきます。
子どもから大人まで楽しめる、宇宙の魅力が詰まったトーク
イベントです。

開催時間—— 16:00～17:00
・受付は開始時刻の10分前からです。

会場—— 2階 講座室

定員—— 50名程度

対象—— 小学生以上
・杉並区在住・在学・在勤の方とご家族

講師—— 寺菌淳也(てらぞの じゅんや)
1967年東京都生まれ。東京大学大学院博士課程
中退。宇宙航空研究開発機構、会津大学など
を経て、現在合同会社ムーン・アンド・プラネット
代表。NPO法人日本火星協会理事。宇宙開
発、特に月・惑星探査の普及啓発をライフワーク
としている。



観望会

2026年9月19日(土)は、月を観察するのにぴったりな「上弦の月」の日です。秋の月といえば満月を思い浮かべる方も多いですが、実は月面の地形を観察するなら上弦の月がおすすめ。なぜ見やすいのか、そのひみつは観望会でご紹介します！
天体望遠鏡で月をのぞくと、円形にくぼんだ地形の「クレーター」や山が細長く連なった「山脈」がはっきりと見えてきます。まるで月面を探検しているような気分で、月のひみつを発見してみましょう。
「月のクレーターはどのようにして作られたの?」「月のクレーターの大きさはどのくらいあるの?」そんな疑問にもお答えします。ぜひ観望会で、普段はなかなか見ることでできない月の表面を拡大した姿をじっくり観察してみましょう！

開催時間—— ①17:30～18:00 ②18:15～18:45
③19:00～19:30 ④19:45～20:15

・受付は開始時刻の10分前からです。

会場—— [集合場所] 2階 講座室
[実施場所] 2階 テラス(料理室 外)

定員—— 各回30名程度

対象—— どなたでも
・杉並区在住・在学・在勤の方とご家族 ・小学生以下は保護者同伴

雨天・曇天の場合はプロジェクターによる天体解説を行います。その日に見られる星座や天体について学び、天体望遠鏡の操作体験を実施いたします。

トークイベント・観望会へのお申込みはこちらから ▶

